



教科学習 EDUCATIONAL SYSTEM

各自の関心に応じて、深く学ぶ。

教育課程

本校は授業週5日制を実施しており、1日6時限で50分単位の授業を行っています。「教科の学習を通して、総合的判断力・洞察力をもち、自分の人生の進路を切り拓く力をもつ人間の育成に努める」という目標により、カリキュラムが作成されています。

2年次からは文・理の選択科目が置かれ、3年次ではカリキュラムの半分を占めます。各自の関心のある科目をより深く学習できるようになっており、青山学院大学への内部進学はもちろんのこと、多様な進路選択にも対応できるものとなっています。また、必修の英語ではホームルームを習熟度別のクラスに分割し、学習効果を高めています。

土曜日には総合的な学習の時間の一環として、青山学院大学・同女子短期大学の先生方による《学問入門講座》(▶10ページ)を開講し、進学指導にも役立てています。

(注1) 理科の履修科目に関しては、2年次までに3科目を履修するものとする。化学基礎を履修しなかった場合は地学基礎を履修するものとする。
 (注2) 標準古典、地理A、数学B、数学I・A演習、物理I、地学基礎、音楽I・II、美術I・II、オール・コミュニケーションA、リテラチャー、英語演習A
 (注3) 古典B、日本史B、世界史B、地理B、数学Ⅲ(α)、物理、化学、生物、**選択音楽 ▶14ページ**、**選択美術**、**上級英語 ▶14ページ**
 (注4) 聖書特講、**国語表現 ▶14ページ**、漢文、文学史、国語特講、地理特講、世界史特講A・B、現代史特講、日本史特講A・B、**現代社会特講 A・B ▶14ページ**、数学Ⅲ(β)、数学演習A・B、数学基礎演習、数学特講、物理I、化学I、生物総合、地学、環境科学、体育特講A・B、球技A・B、音楽II・III、美術立体、美術平面、書道I・II、工芸I・II、オール・コミュニケーションB、メディア・イングリッシュ、**リスニング・コンプリヘンション ▶14ページ**、英語演習B、英語特講、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国・朝鮮語、被服基礎、食物基礎、ICT活用探求実践
 ※一部変わる場合があります

学年	1年	2年	3年
1 聖書 ▶12ページ	聖書 (1)	聖書 (1)	聖書 (1)
2 国語 ▶12ページ	国語総合 (4)	現代文B (2)	現代文B (3)
3 地歴公民 ▶12ページ	世界史A (2)	日本史A (2)	政治・経済 (3)
4 数学 ▶12ページ	数学I (3)	現代社会 (2)	3単位選択科目(注3)から3科目を選択(9)
5 理科 ▶12ページ	数学A (2)	数学Ⅱ (5)	
6 保健体育 ▶13ページ	生物基礎 (2)	物理基礎 (2)	体育 (2)
7 芸術 ▶13ページ	体育 (2)	体育 (3)	
8 外国語 ▶13ページ	保健 (2)	コミュニケーション英語Ⅱ (3)	コミュニケーション英語Ⅲ (3)
9 家庭 ▶13ページ	音楽I(2)、美術I(2)、音道I(2)、工芸I(2)から1科目を選択	英語表現Ⅱ (2)	英語表現Ⅱ (2)
10 情報 ▶13ページ	コミュニケーション英語Ⅰ (3)	古典B 又は 化学基礎 (3) (注1)	2単位選択科目(注4)から3科目を選択(6)
11 家庭 ▶13ページ	英語表現Ⅰ (2)	2単位選択科目(注2)から2科目を選択(4)	
12 総合的な学習の時間 ホームルーム	家庭基礎 (2)	2単位選択科目(注2)から2科目を選択(4)	2単位選択科目(注4)から3科目を選択(6)
13 情報 ▶13ページ	社会と情報 (2)	総合的な学習の時間 ホームルーム	総合的な学習の時間 ホームルーム

聖書

Biblical Studies



青山学院の心を学ぶ。

聖書の授業は、一教科の学びとして位置づけられていますが、学問的な領域にとどまらず、「地の塩、世の光」の表す人間形成を目指し、この時代を生きていくことについて聖書から学びます。青山学院の学びの土台となる授業です。



地歴・公民

Social Studies



身近なことから世界を広げる。

①現代の複雑な世界が形成されてきた過程をさぐる歴史、②地域的・空間的視野から自然や社会をとらえる地理、③政治・経済などの社会的構造から物事をとらえる公民、という三つの大きな視野から社会現象を見ていきます。また、選択科目の特講では、グループ学習、レポート、討論、発表などを通じて、自ら調べて考えるなかで、主体的な学習能力、課題に対する分析力、論理的思考能力、表現力など、これからの社会を担う力を育てることを目標とします。

数学

Mathematics



数学は文化である。

数学は、先人たちが長い時間と多大な労力を費やして発展させてきたものです。このような“文化”としての数学を学ぶことを念頭におきながら、現代文明に必要な不可欠な数学的素養を培います。2年生では、少人数制の習熟度別演習の時間を設けています。授業を通して数学の基本的な技術を習得することにより、柔軟な論理的思考や創造性が生まれます。そして身につけた知識を駆使し、自ら問題解決ができる能力を育みます。

国語

Japanese Language And Literature



言葉を正しく理解し、自分を表現する力を養う。

国語科の目標は「読解力を養い、表現力を身につける」ことにあります。高等部では近・現代の文学に加えて古典にも重点をおき、生徒一人ひとりの日本文化総体に対する関心が深まることを最終的な目標としています。

理科

Sciences



冷静な分析と総合的な判断。

環境問題をはじめ現代社会は多くの問題をかかえています。その責任が科学にあると言われることもあります。はたしてそうでしょうか。冷静に問題を分析し、誰にでもわかる言葉で解決の道筋を模索することが問われているのではないのでしょうか。理科において一番大切なことは自然から学ぶことです。そのため実験や観察を重視し、できる限り多くの時間を割くようにしています。

外国語

Foreign Languages

「英語の青山」の名にふさわしい良き伝統。

英語を学ぶことを通して、普遍的なものを追い求める心を養い、広く世界全体に目を向けて、国や文化の違いを超えて社会に貢献できる人を育てることを目指します。必修授業では習熟度別に授業を行い、各生徒が自分のレベルに合ったスピードで英語を学習できるように配慮しています。選択の授業では、英語を道具として使い映像作品を製作して発表する発信型の授業、長文読解や文法演習を行う授業、CNNやNews websiteを扱う授業など、生徒のニーズに合わせた幅広い種類の授業を用意しています。

また、第二外国語として、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国・朝鮮語を選択することもできます。



文化祭での英語スピーチコンテスト

保健体育

Health And Physical Education



心身ともに強く成長することを願って。

生涯体育を実践する基礎を培う高校時代。青年期に必要な運動量を確保し、自分たちで創意・工夫、協力して運動が行える種目を指導しています。保健では身近な事柄を教材にとりあげ、実践的な健康・安全管理ができて学習の中心目標としています。

家庭科

Home Economics



生活全般を実践的に学ぶ。

家庭科では、人間が生きていくために欠かせない、衣・食・住の基本的な知識および技術を学ぶだけでなく、現在の家庭を取り巻く諸問題にも目を向けて、自立した生活者としての意識を高め、自分はどういう生活・人生を送りたいのかを考える機会を与え、自分の生活・人生をデザインする力を身につけることを目指します。

芸術

Art



心を豊かに。

音楽では、①知識を増やし・感性を磨き・技術を高める事によって、より「美しい音」を知り・感じ・表現する事、②そして、誠実にかつ真摯に音楽に向きあい取り組んでいく心と身体姿勢を学びます。
美術では、さまざまな素材に触れ、感性や創造性を養い、個人の能力を高めるとともに、幅広い表現力を養います。また、美術やデザインを発する最先端の環境を生かして、美術館やギャラリーなどを見学します。

情報

Information And Communication Technology



欲張りに探究する心、的確に判断する力を。

次の3本柱を中心に、その知識と技術を身につけることを目標にしています。

- I. 情報処理の大切さと注意すべき点心得る
- II. 情報処理の道具として、ハードウェアの仕組み、ソフトウェアの使い方を習得する
- III. IおよびIIを踏まえながら、1つのテーマに関する問題解決や調査研究の進め方を体験学習する

上級英語

英語で考える「世界の現状」

外国語 ▶ 13 ページ

今日世界が抱える問題（戦争、差別、貧困など）について学んでいます。これらの問題が互いどのように結びつき、その背後にどのような原因があるのかを考えます。その過程において、生徒は各テーマに関連した約400の表現を学び、それらとつながりの深い言葉を自ら考えます。その上で話し合い、発表へと展開させていきます。高等部の中でもっともチャレンジングな授業のひとつです。ネイティブ教員が担当。



特色ある選択科目

ELECTIVE SUBJECTS

現代社会特講B(国際社会と日本)

「日本のあるべき姿」について

ディベートする公民 ▶ 12 ページ

今日の、そしてこれからの日本は国際社会においてどのような役割を果たしていくべきか—というテーマで、調べ学習や討論を通じて自分自身の考えを確立していくことを目標にしています。具体的には、「憲法第9条を改正すべきか」、「集団的自衛権の行使容認をどう考えるか」、「日本は過去の戦争とどう向き合うべきか」などの議題を設定して、グループごとに話し合い、資料を集め、作戦を練った上で、ディベートを行います。また、論理的・分析的なレポートの書き方も学びます。



リスニング・コンプリヘンション

「生きた英語」を身につける

外国語 ▶ 13 ページ

スピーチ、ニュース、ヒットソング、映画などのディクテーションを通して、文法、語法、発音、英語の正しい発話の仕方などを体系的に学んでいく授業です。歴史上の名スピーチを聴き取って暗唱し、それを講堂の舞台上で発表してみたり、集大成のグループプロジェクトとして、映画のアフレコ制作に取り組んだりしています。アフレコでは班ごとに映画の台詞を聴き取って台本を起し、映像に合わせて皆が役を演じながら、自然と生きた英語を身につけていきます。



選択音楽

オペラの世界に触れる

芸術 ▶ 13 ページ

選択音楽では、オペラについて勉強します。舞台上で歌い演じるキャストはもちろん、大道具・小道具・衣裳などの舞台装置や美術も手作りで行っています。これまで、「魔笛」(写真)、「コシ・ファン・トゥッテ」、「フィガロの結婚」といったモーツァルトの作品を中心に取り上げてきました。今後も様々なオペラの様々な場面を取り扱い、音楽的な力だけではなく多種多様な仕事を一つの「形」に創り上げる「アンサンブル力=生きる力」を育てていきます。

